



国立大学法人

長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

平成23年 4月19日

東北地方太平洋沖地震における長崎大学の支援について

21

東北地方太平洋沖地震の支援のための長崎大学の活動状況について、別紙のとおりお知らせします。

【問い合わせ先】

長崎大学広報戦略本部

Tel : 095-819-2868

東北地方太平洋沖地震における長崎大学の状況について

長崎大学が4月8日～14日に実施した東北地方での支援活動等について公表します。

【4月8日～14日の動き】

●緊急ひばくしゃ医療対応

長崎大学では継続して福島県立医科大学を拠点に「緊急ひばくしゃ医療対応」を実施しています。4月8日～4月14日の期間に実施した主要な支援活動は、以下のような内容になります。また、山下研究科長、高村教授は福島県の放射線健康リスクアドバイザーとして活動しています。

●地域医療支援について

長崎大学は長崎県及び長崎市と連携し、4月3日から、で福島県南相馬市を中心に在宅（巡回）診療を行っています。当面の活動期間は2カ月程度を予定しています。長崎大学からは1チーム（医師1名、看護師1名を基本）と歯科医師を1週間交代の予定で派遣しています。

第1陣（4月3日～4月10日）

安岡彰教授（医師）、齋藤俊行教授（歯科医師）、鉦打健（看護師）

第2陣（4月10日～4月17日）

中村英樹助教（医師）、小山善哉助教（歯科医師）、白石剛士医員（歯科医師）、張川恭子（看護師）

●その他

・東北大学医学系研究科微生物学分野からの要請で、宮城県感染症対策室の支援として、避難所における感染症のリスクアセスメント、インフルエンザ、下痢症のサーベイランスを実施。

3月28日～4月9日 鈴木基助教

4月5日～4月16日 宮原麗子（学生：医歯薬学総合研究科）

・HuMA（災害人道医療支援会）からの要請を受け、奥村 順子准教授（熱帯医学研究所）が、宮城県志津川Bayside Arena（被災者1500名）およびその周辺地域において、①被災者医療支援における調剤、薬剤管理、②HuMAが現地にて立ち上げた赤ちゃん一時避難プロジェクト活動を実施。

・岩手県現地災害対策本部において、水本憲治（学生：医歯薬学総合研究科）が被災者への医療支援とその調整を実施。